

- 問1 日本の選挙制度の一つである「比例代表制」について、その仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 一つの選挙区から、得票数の多い順に二人以上の当選者が出る仕組み

2. 有権者が政党に対して投票を行い、各政党の得票数に応じて議席を配分する仕組み

3. 一つの選挙区から、得票数の最も多かった候補者一人だけが当選する仕組み

4. 各自治体の人口に関わらず、すべての都道府県に均等な数の議席を割り当てる仕組み
- 問2 日本の比例代表制において議席配分に用いられる「ドント式」に関する説明として、正しいものはどれですか。4つの議席をA党、B党、C党で争い、各党の得票数をそれぞれ1、2、3、4の整数で順に割った値を比較する場合を想定して答えなさい。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. まず各政党に1議席ずつ割り当て、残った議席を最も得票数の多かった政党に加算する。

2. 各政党の得票数を、全政党の合計得票数で割った割合に基づき、小数点以下を切り捨てて配分する。

3. 最も得票数の多かった政党が、その選挙区のすべての議席を独占的に獲得する。

4. 各政党の得票数を整数で割った値(商)を算出し、その値が大きい順に議席を割り当てる。
- 問3 日本の選挙における若年層の政治的影響力について、統計上の事実に基づいた説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 若年層の人口は中高年層より多いが、投票率が極端に低いため、結果として政治的影響力が相殺されている。

2. 若年層は中高年層に比べて人口が多く、かつ投票率も非常に高いため、現在の政治を主導する立場にある。

3. 若年層の人口は中高年層より少ないが、投票率が全年代で最も高いため、中高年層と同等の政治的影響力を持っている。

4. 若年層は中高年層に比べて人口が少なく、かつ投票率も低いため、その意見が政治に反映されにくい状況にある。
- 問4 現代の民主政治において、社会的な問題に対して多くの人々によって共有されている意見や意識を何というか。また、それらが政治に与える影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 世論と呼ばれ、マスメディアの報道などを通じて形成され、政府の政策決定に大きな影響を与える。

2. 請願と呼ばれ、国や地方公共団体の機関に対して、公的な要望を文書で提出する権利として保障されている。

3. 政策と呼ばれ、世論調査の結果にかかわらず、議会において多数決で決定された具体的な施策のことである。

4. 直接請求と呼ばれ、一定数の有権者の署名を集めることで、条例の制定や改廃を直接首長に求めることができる。
- 問5 日本の現代社会における18歳から20歳代の「若年層の政治参加」について、意識調査や投票結果の統計から読み取れる状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 若年層の投票率は高齢層を上回っているが、政治に関心がないと答える人の割合が半数を超えていることが課題となっている。

2. 18歳から29歳の層は政治への関心が非常に高く、投票率も全世代の中で最も高い数値を示している。

3. 18歳から29歳の層では約3割の人が政治に全く関心がないと回答しており、投票率も約37.6パーセントと全世代の中で最も低い水準にある。

4. 選挙権年齢が18歳に引き下げられたことで、18歳から29歳の投票率は他の世代と同程度の50パーセント台まで上昇した。
- 問6 選挙制度における「死票」という言葉の定義として、正しいものはどれか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 特定の候補者ではなく、政党に対して投じられた票のこと。

2. 誰の名前も書いていない、または判別不能な状態で投じられた票のこと。

3. 落選した候補者に投じられた、議席に結びつかなかった票のこと。

4. 有権者が選挙への関心を失い、投票所に行かずは無効となった票のこと。
- 問7 日本の選挙制度における仕組みやルールについて、現在の公職選挙法に基づき正しく説明しているものを選択してください。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 仕事や旅行などで投票日当日に投票所へ行くことができない有権者のために、公示日や告示日の翌日から投票日前日までに行える期日前投票の制度が設けられている。

2. 選挙の公正を保つため、投票用紙にはあらかじめすべての候補者の氏名が印刷されており、有権者がその中から一人を選んで記号を書き込む方式が義務付けられている。

3. 有権者の利便性を高めるため、SNSやウェブサイトなどのインターネットを利用した選挙運動は、候補者・有権者を問わずあらゆる制限なしに完全に自由化されている。

4. 参議院議員は衆議院議員に比べて任期が長いので、より若いうちから政治経験を積めるよう、立候補できる年齢は満25歳以上と低く設定されている。
- 問8 民主政治において、国民の「意見」を「政治」に正しく「反映」させるためには、多くの有権者が選挙に参加することが重要です。もし特定の世代で「投票の棄権」が目立つようになった場合、どのような問題が生じると考えられますか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 立候補者の数が増加し、より多様な政党の中から自分に合った代表者を選べるようになる。

2. 代表者の数が自動的に削減されるため、議会での話し合いが効率化し、法律が早く成立する。

3. 選挙にかかる費用が削減され、その分が教育や福祉の予算に回されるため、生活が豊かになる。

4. 棄権した世代の要望が軽視され、投票率の高い世代に向けた政策が優先されやすくなる。
- 問9 国会議員や地方公共団体の長に立候補できる年齢(被選挙権)を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 都道府県知事と市町村長は、どちらも選挙権が得られる18歳から立候補が可能である。

2. 衆議院議員に立候補できる年齢は、参議院議員に立候補できる年齢よりも5歳高く設定されている。

3. 参議院議員と都道府県知事に立候補できる年齢は、いずれも25歳以上と共通している。

4. 市町村長に立候補できる年齢は25歳以上であるが、都道府県知事に立候補する場合は30歳以上である必要がある。
- 問10 連立政権を形成する際、ある政党が内閣に閣僚(大臣)を出すことはしないものの、予算案や法案の採決などで政権側を支援し、協力関係を維持することがあります。このような協力のあり方を何と呼びますか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 政党交付金

2. 不信任決議

3. 閣外協力

4. 党議拘束
- 問11 ある選挙において、P県は議員定数が2名に対し有権者数が60万人、Q県は議員定数が8名に対し有権者数が720万人であるとします。このとき、議員1人あたりの有権者数を比較して算出される「一票の格差」は何倍になりますか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 4倍

2. 3倍

3. 12倍

4. 1.2倍
- 問12 日本の衆議院比例代表選挙や参議院比例代表選挙において、各政党の得票数に応じて議席を配分するために採用されている計算方法の名称として正しいものを選びなさい。この方法は、各政党の得票数を1、2、3...という正の整数で順に割り、その結果得られた数値(商)の大きい順に議席を割り当てる仕組みです。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 小選挙区制

2. ドント式

3. 拘束名簿式

4. 最高裁判所裁判官国民審査

答え合わせ・解説

問1	答え 2 有権者が政党に対して投票を行い、各政党の得票数に応じて議席を配分する仕組み	比例代表制は、有権者が特定の個人ではなく政党を選んで投票し、各政党が獲得した票の割合（得票率）に応じて議席を割り振る制度です。小選挙区制に比べて、得票が議席に結びつかない「死票」を減らすことができ、各政党の支持率をより正確に議席数へ反映させることができます。
問2	答え 4 各政党の得票数を整数で割った値（商）を算出し、その値が大きい順に議席を割り当てる。	ドント式は、各政党の得票数を1, 2, 3...といった整数で順に割り、得られた値（商）を全政党で比較して、値が大きい順に議席を割り当てていく計算方法です。例えば、A党の得票数を1で割った値、2で割った値、B党の得票数を1で割った値などを並べ、数値の大きい方から定数に達するまで議席を与えます。これにより、政党の支持規模に応じた公平な議席配分が可能になります。
問3	答え 4 若年層は中高年層に比べて人口が少なく、かつ投票率も低いいため、その意見が政治に反映されにくい状況にある。	若年層の政治参加における課題は、二重の構造によって生じています。第一に、少子高齢化によって年代別人口における若者の割合が中高年層に比べて著しく低い「人口構成」の問題があります。第二に、2017年の衆議院議員総選挙などで見られるように、20代の投票率が約30%にとどまるなど、他の世代と比較して「投票率」が低いという問題です。この「数の少なさ」と「参加意欲の低さ」が重なることで、政治的反映が不十分になる現象が指摘されています。
問4	答え 1 世論と呼ばれ、マスメディアの報道などを通じて形成され、政府の政策決定に大きな影響を与える。	現代の民主政治は、国民の意思に基づいて行われるべきであり、多くの人々が抱く「世論」は政治を動かす大きな力となります。世論は、テレビや新聞、インターネットなどのマスメディアが提供する情報に大きく影響を受けて形成されることが多いため、私たちは情報の信憑性を判断する力（メディア・リテラシー）を持つことが求められます。また、政府や政党は世論の動向を無視して政策を推し進めることは難しく、常に国民の意識を注視しています。
問5	答え 3 18歳から29歳の層では約3割の人が政治に全く関心がないと回答しており、投票率も約37.6パーセントと全世代の中で最も低い水準にある。	現代の日本において、若年層の政治参加は大きな課題となっています。意識調査では18歳から29歳の30.1パーセントが「政治に全く関心がない」と回答しており、実際の選挙における投票率も37.6パーセントと、他の世代と比較して最も低い数値に低迷しています。このような状況は、若者の意見が政治に反映されにくくなる「シルバー民主主義」の一因とも指摘されています。
問6	答え 3 落選した候補者に投じられた、議席に結びつかなかった票のこと。	選挙において、国民が投じた票が議席という結果に反映されないことを指して死票と呼びます。例えば、小選挙区において候補者Aが5万票、候補者Bが4万票を得た場合、Aが当選し、Bに投じられた4万票はすべて死票となります。これに対し、無効票は書き損じなどの不備がある票、棄権票は投票そのものを行わなかったケースを指します。
問7	答え 1 仕事や旅行などで投票日当日に投票所へ行くことができない有権者のために、公示日や告示日の翌日から投票日前日までに行える期日前投票の制度が設けられている。	棄権を防ぎ投票率を向上させるため、当日に用事がある人が事前に投票できる仕組みが整えられています。なお、インターネット選挙運動には電子メールの利用制限などのルールが存在し、被選挙権の年齢は参議院（30歳以上）の方が衆議院（25歳以上）よりも高く設定されています。また、日本の国政選挙では投票用紙に自ら氏名を記入する「自書式」が一般的です。
問8	答え 4 棄権した世代の要望が軽視され、投票率の高い世代に向けた政策が優先されやすくなる。	政治家は投票に行く有権者の声を重視して政策を立案する傾向があるため、特定の世代の棄権が増えると、その世代のニーズが政治に反映されにくくなります。国民全体の意思をバランスよく政治に結びつけるためには、すべての世代が責任を持って一票を投じることが、民主主義の質を高めることにつながります。
問9	答え 4 市町村長に立候補できる年齢は25歳以上であるが、都道府県知事に立候補する場合は30歳以上である必要がある。	地方公共団体の長（首長）についても、被選挙権の年齢制限が異なります。住民により身近な行政を担う市町村長は、衆議院議員と同じく25歳以上とされています。一方で、より広域な自治体を担う都道府県知事は、参議院議員と同様に30歳以上でなければ立候補することができません。このように「25歳グループ（衆議院・市町村長）」と「30歳グループ（参議院・都道府県知事）」に分けて整理することが重要です。
問10	答え 3 閣外協力	連立の枠組みには加わり、首班指名や重要法案で政権を支えるものの、自党の議員を大臣として入閣させない形態を指します。これにより、政権は議会での過半数を安定させることができ、協力する政党は自らの政策を政権運営に反映させつつも、内閣の責任を直接的には負わない立場をとることがあります。
問11	答え 2 3倍	議員1人あたりの有権者数は、P県が30万人（60万人÷2名）、Q県が90万人（720万人÷8名）となります。この両者を比較すると、Q県の有権者が持つ一票の価値はP県の3分の1しかなく、格差は3倍（90万÷30万）であると計算されます。
問12	答え 2 ドント式	比例代表制は、各政党の得票率に応じて議席を配分する選挙制度です。その計算方法として用いられるドント式は、各政党の得票数を整数で割っていくことで、各党の勢力に基づいた公平な議席配分を目的としています。小選挙区制は1つの選挙区から1人を選出する仕組みであり、議席配分の計算方法を指す用語ではありません。